

# 灯台写真館

灯台の今昔（今は無き古き良き灯台）

## 鮎埼灯台



三原瀬戸の明治期 8 灯台の一つとして、明治27年 5 月 1 日、**広島県豊田郡東野町**（現在の**大崎上島町**）鮎埼集落裏山の中腹に設置され、廃止される平成21年 1 月 19 日まで約**105**年の長きに亘り、付近瀬戸を航行する船舶の道標として活躍した灯台ですが、老朽化が進む中、航海計器の発達もあり、利用価値が薄れたため廃止となったものです。



# 女猫島灯台



在りし日の女猫島灯台



解体撤去中の女猫島灯台

昭和**41**年3月3日、猫瀬戸の北側に所在する女猫島の南端に設置された灯台ですが、平成**12**年に開通した安芸灘大橋の橋梁灯や橋脚灯と重複するため、約**43**年の短い生涯でしたが、平成**20**年**10**月**10**日をもって廃止となり、撤去されました。

# 小麗女島灯台

撮影時期不明（昭和47年以前）

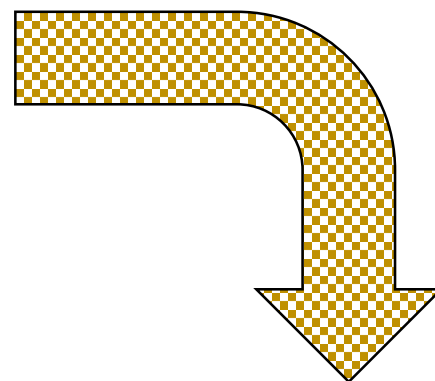


今のろうそく型の灯台になったのは平成3年のこと。昔はこんな形をしていました。

呉港の入り口に位置する小麗女島には、戦前、海軍の見張り所がありました。

見張り所は戦後、呉海上保安部の「小麗女島信号所」となり、昭和23年3月1日、同信号所の屋上に灯器が設置され「小麗女島灯台」が誕生しました。

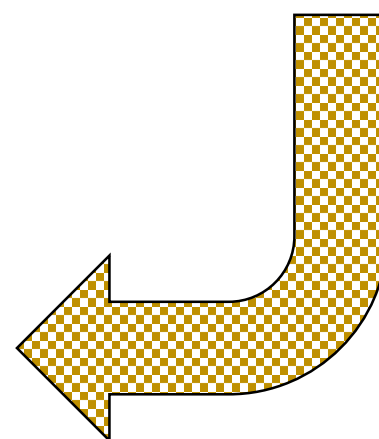
ちなみに、「小麗女島信号所」は昭和50年頃まで呉海上保安部の職員が24時間常駐し、呉港内の交通整理等を行っていました。



撮影時期不明（昭和47年頃）



現在



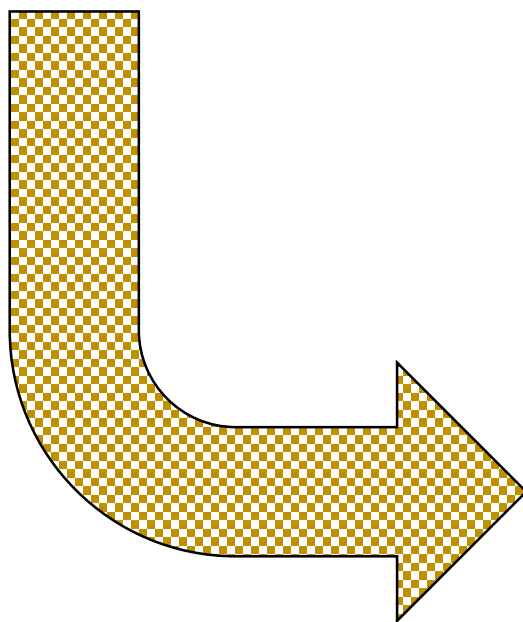
# 御手洗港防波堤灯台

撮影時期不明（平成3年年以前）



御手洗港防波堤灯台がある呉市大崎下島御手洗地区は、江戸時代、潮待ちの港町として発展し、歴史的な建物、町並みは現在も残っており、重要伝統的建造物群保存地区として選定されています。

初代御手洗港防波堤灯台は、螺旋階段が特徴的な灯台で江戸時代につくられた石造りの防波堤「千砂子波止」の先端にありましたが、平成3年の大型台風19号により防波堤ごと倒壊したことから、江戸時代から「千砂子波止」の突端で灯台の役目を果たした「高灯籠」を模したデザイン灯台として平成6年に生まれ変わりました。



# 現在活躍している主な灯台・灯標



## 呉港阿賀沖 防波堤西灯台

所在地：呉市阿賀沖  
設置年月日：昭和53年12月12日



## 下碇磯灯標

所在地：東広島市大芝島南方沖  
設置年月日：昭和36年11月4日



## 三ツ石灯台

所在地：呉市鹿島南東沖  
設置年月日：昭和12年7月25日



## 西五番之碇灯標

所在地：吳市倉橋島南西沖  
設置年月日：明治37年3月10日



## 大久野島灯台

所在地：竹原市大久野島南端  
設置年月日：明治27年5月15日



## 御手洗港 防波堤灯台

所在地：吳市大崎下島御手洗港  
設置年月日：昭和15年3月10日



## 鮎埼港鮎埼防波堤灯台

所在地：大崎上島町鮎埼

設置年月日：昭和10年7月1日



## 音戸瀬戸 南口灯浮標

所在地：呉市音戸瀬戸南口

設置年月日：昭和50年2月20日



## 太郎坊浮標

所在地：呉市小麗女島北沖

設置年月日：昭和24年5月1日



## 牛ゾノ立標

所在地：江田島市大君東沖

設置年月日：昭和25年7月3日

# 灯台愛好家の方から提供頂いた写真



満開の桜と中ノ鼻灯台

中ノ鼻灯台の赤い分光板



大下瀬戸向け南下している日本最大の外航クルーズ客船「飛鳥Ⅱ」と中ノ鼻灯台